



三溪 プロフィール

明治がはじまった年に、佐波村（現在の岐阜市柳津町）で生まれたよ。

最初の名前は、青木富太郎。

原 三溪

三溪の趣味

幼いころから絵や書に親しんで育ったよ。岐阜を思う三溪は、金華山や鶉飼などふるさとの風景もえがいているよ。

生糸商 三溪

17さいの時、三溪は学問のため東京へ行ったよ。23さいの時、横浜の生糸商である原善三郎の孫・屋寿と結婚。31さいで善三郎のあとをつぎ、後に世界遺産に登録される富岡製糸所の経営にもかかわったよ。



日本の文化を守る三溪

ヨーロッパを手本にしていた時代、日本美術をまもろうと動いたのが岡倉天心だよ。三溪は、天心の考えに賛成し、画家たちの研究費を出すなど、さまざまな支援をしたよ。



茶人としての三溪

三溪は、「近代三茶人」の一人といわれた有名な茶人だよ。三溪が開く茶会は、人々の心に残るものだったよ。



社会のために力をつくす三溪

地域のために力をつくす父のすがたを見て育った三溪。1891年に起きた濃尾震災でふるさとが被害を受けたことを知ると、支援金をもってかけつけたよ。1923年の関東大震災では、横浜の復興にむけて力をそそいだよ。





原三溪記念室

岐阜が生んだ 原三溪



明治、大正、昭和の時代を生き抜いた原三溪。

彼は、どんな思いをもち、どんなことを成しとげたのでしょうか。クイズを解きながらさぐってみましょう。

クイズ1

三溪は、何村で生まれたでしょう。

ひらがな2文字

〇〇村



三溪は、17さいまでこの記念室の近くですごしていたよ。

クイズ2

34さいの時、三溪は後に世界遺産に登録される製糸所を経営するようになったよ。何製糸所でしょう。

この当時、生糸は日本の主要な輸出品で世界で高く評価されたよ。



ひらがな4文字

〇〇〇〇製糸所

クイズ3

三溪がえがいた「金華山と鶺鴒図」を見てみよう。金華山の頂上には、何城がえがかれているかな。

ひらがな2文字

〇〇城

岐阜を思う三溪は、ふるさとの風景もえがいているね。



クイズ4

横浜市には、三溪の自宅があったよ。三溪は、しきち内に日本各地から伝統的な建物をうつし、みんなが見られるようにしたよ。この庭園の名前は何でしょう。

ひらがな4文字

〇〇〇〇園

今もひと々に親しまれているね。



クイズ5

1923年、三溪は大地震による横浜の被害を知ると、復興のために力をそそいだよ。この地震の名前は何でしょう。

ひらがな4文字

〇〇〇〇大震災

都市計画を打ち立て、資金を集め、復興の歌まで作り、人々をはげましたんだ。

